

悪性大腸狭窄に対する大腸ステントの有用性に関する観察研究

当科では、狭窄を有する大腸腫瘍患者さんを対象に、『悪性大腸狭窄に対する大腸ステントの有用性に関する観察研究』という臨床研究を行っており、大腸金属ステントの有用性・安全性等について検討しております。この研究では、当院倫理委員会で承認された内容に則り、対象患者さんのカルテ情報を使用させていただきます。

研究期間:2018年4月1日～2023年3月31日

方法:

上記期間において、狭窄を有する大腸腫瘍の患者さんの性別、年齢、病歴、内視鏡画像、X線画像、治療情報、金属ステントに関連した合併症等についてカルテから抽出し検討します。観察研究であり、特に費用等が発生することはありません。

個人情報に関して:

個人が特定されないように匿名化されるため、個人情報が漏洩することはありません。

利益相反:ありません

研究成果の公表:学会や科学専門誌に発表することがあります。

本研究に関してご不明な点やご質問がありましたら下記までお問い合わせください。また、今回の研究に参加されたくない場合には、研究対象から除外させていただきますので下記まで遠慮なくお申し出ください。その場合でも、今後の診療に影響を及ぼすことはありません。

2021年11月22日

市立長浜病院 消化器内科

研究責任者 部長 大野将司

TEL 0749-68-2300(代表) FAX 0749-65-1259